

55 アカエリヒレアシシギ (チドリ目)

Phalaropus lobatus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、アラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極沿岸や島嶼で繁殖し、繁殖後は西太平洋、アフリカ大西洋沿岸、南アメリカ太平洋沿岸などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来する。主に海上に生息するが、干潟や内陸の湿地にも飛来することがある。主にプランクトンや水生昆虫、甲殻類など、水中の小動物類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、宇治群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、三田市、淡路市、加東市、★神河町、香美町、新温泉町



写真提供：加地啓子

(性別：メス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○						○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-9月に生息する。主に紀淡海峡や明石海峡周辺に群れをなして渡来している。1983年6月には岩屋沖で約5万羽が記録されたことがあるが、現在では激減しているとみられる。県北部でも時々記録がある。しかし、海上の生息状況はよくわかっていない。

保護上の留意点

藻場を含む海域の保全が重要。同時に海上での生息調査を行い、減少要因を探ることが必要。